

安全データシート

作成日:1999年3月1日

改訂日:2020年2月14日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称(製品名)	オレイン酸
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社)
電話番号	(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
FAX番号	(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	AE0168
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	全ての項目で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」
GHS分類に該当しない他の危険有害性	高温では引火の可能性がある。 皮膚、眼に刺激作用がある。多量に経口摂取すると嘔吐、腹痛、下痢、痙攣等をおこすおそれがある。
重要な兆候及び想定される非常事態の概要	眼、皮膚：発赤
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	オレイン酸
別名	赤油
化学式	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{CH}=\text{CH}(\text{CH}_2)_7\text{COOH}$
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN : 112-80-1
濃度又は濃度範囲(含有率)	—
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(2)-975
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗う。痛み等の症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	うがいをする。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、泡末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の措置に関する特有の危険有害性	指定可燃物である。
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。 周辺火災の時は、容器を安全な場所に移し消化に努める。
消火を行う者の保護	消火作業の際には必ず保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。
二次災害の防止策	少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 多量の場合には盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	局所排気又は全体換気のある場所で取扱う。 取り扱う時は火気に注意する。
安全取扱い注意事項	取扱場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行う為の設備を設置する。 取扱う時は適切な保護具を着用する。

接触回避	アルカリ性物質との接触を避ける。
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。火気に注意する。
安全な容器包装材料	アルカリ性物質との接触を避ける。 ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	局所排気装置を設置する。
保護具	洗顔及び身体洗浄を行う為の設備を設置する。
呼吸用保護具	該当情報なし。
手の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
眼の保護具	ゴム手袋を着用する。
皮膚及び身体の保護具	ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	透明の液体（冬季は固化する）
色	淡黄色
臭い	特異臭がある。
融点・凝固点	10°C以下
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
燃焼性（固体、気体）	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	196°C（クリーブランド開放式）（区分外）
自然発火温度	250°C
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
粘度（粘性率）	31.0mPa・s(20°C) 15.4mpa・s(40°C) 9.3mpa・s(60°C)
溶解度	0.012g/L(25°C)
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	0.885~0.906(20/20°C)
相対ガス密度	0.1Pa未満
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性	塩基性物質と反応し塩を生成する。（発熱を伴う）
化学的安定性	通常の取り扱いにて安定
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	高温、日光、裸火、強アルカリとの接触
混触危険物質	アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	LD50 経口-ラット 25000mg/kg（区分外）
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。（分類できない）
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。（分類できない）
呼吸器感受性又は皮膚感受性	該当情報なし。（分類できない）
生殖細胞変異原性	該当情報なし。（分類できない）
発がん性	MAK：発がん性カテゴリー：3A（DFG 2008）（区分外）
生殖毒性	該当情報なし。（分類できない）
特定標的臓器毒性（単回暴露）	該当情報なし。（分類できない）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	該当情報なし。（分類できない）
誤えん有害性	該当情報なし。（分類できない）
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期（急性）： 該当情報なし。

	長期 (慢性):	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国際規制		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法 (PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法		危険物第4類引火性液体第3石油類非水溶性
16. その他の情報		
引用文献		職場のあんぜんサイト(厚労省HP) NITE-CHIRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社)
その他		記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。